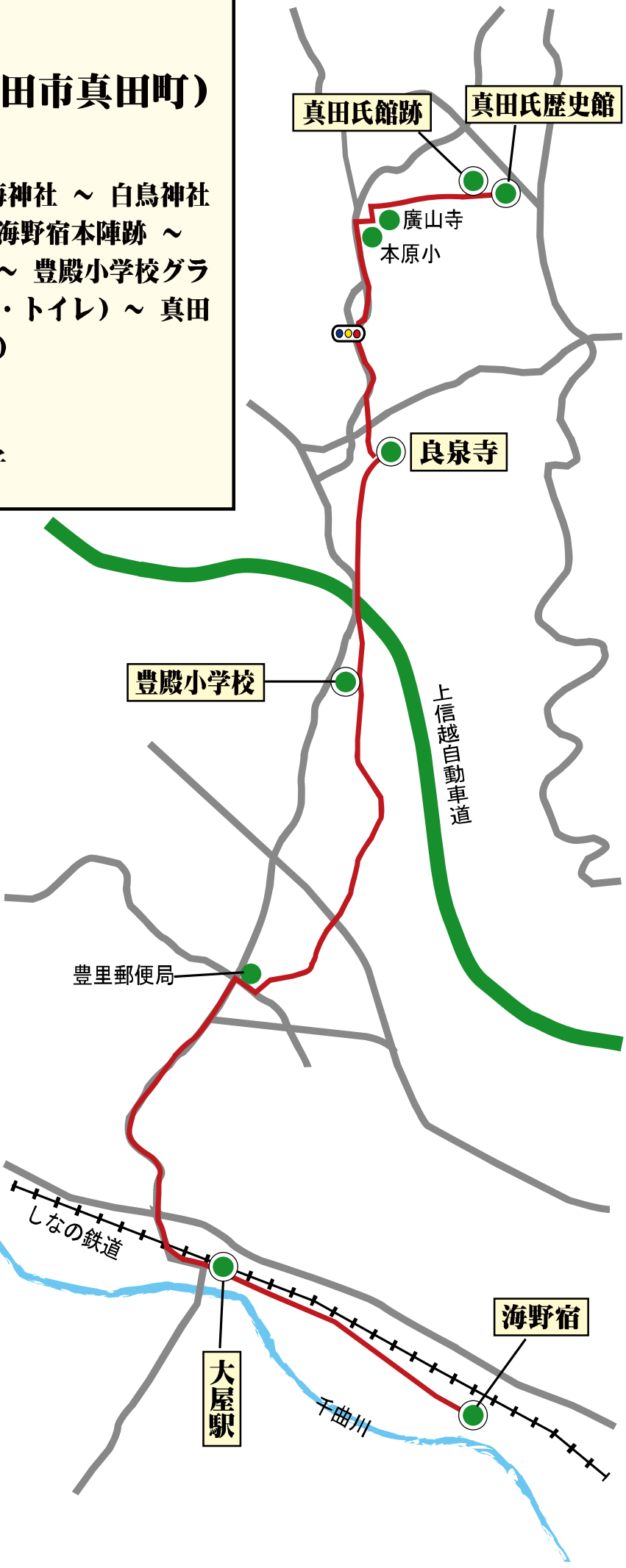
真田の郷巡りウォーク
（東御市海野宿～上田市真田町）

・開催日　２０１６年５月３０日(月)
・コース　海野宿駐車場(トイレ) ～ 新海神社 ～ 白鳥神社 ～ 海野宿資料館(トイレ) ～ 海野宿本陣跡 ～ しなの鉄道、大屋駅(トイレ) ～ 豊殿小学校グランド(トイレ) ～ 良泉寺(昼食・トイレ) ～ 真田氏館跡・真田氏歴史館(トイレ)
・距　離　約１３ｋｍ
・担当者　リーダー　田中憲一
　　サブ　田中哲夫　　穂阪ゆき子

【海野宿】
江戸と越後を結んだ旧北国街道の宿場まちです。国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。又、『日本の道百選』にも選ばれています。約６５０mにわたって古い家並みが続き、街道中央を用水路が流れ、海野格子と呼ばれる独特の格子に防火壁として『うだつ』等が見られ江戸の宿場から明治・大正の養蚕の村の佇まいが郷愁を誘います。

【真田の郷】
戦乱の時代、信濃の小豪族から身を起こし天下にその名をとどろうかせた真田一族です。その舞台は、烏帽子岳、四阿山（あずまやさん）の麓、神川に沿って開けた静かな山村です。山岳信仰を保護し修験者達のパワーをも取り込んだ幸村の知恵だと言われています。そこに集まった猿飛佐助、雲隠才蔵、三好青海入道ら真田十勇士と呼ばれた強者たちの物語等々です。真田の郷一帯や、角間渓谷で技を磨き少数ながら天下を震え上がらせた真田の武士達は、戦国のヒーローです。武士の誇りを身をもって体現した男たちのロマンが蘇ってくるようです。